



あいするじゅう

わたしはだれにたいしてもじゆうなものです すべてのひとのどれいになりました。できる
だけおおくのひとをえるためです。(コリントのしんとへのてがみ I 9:19)



パウロはイエスさまのあいをたくさんのひとにつたえるために、ながいたびをします。そのひとつにギリシアのコリントへのたびがあります。



イエスさまのでしになったばかりのひとは、どうしたらよいかまだわかっていません。パウロにとっていちばんたいせつなことは、みんなをあいすること。とくによわいひとたちをあいすることです。



パウロはだれにたいしてもじゆうですが、みんなにつかえるようにとはなしました。



スペインのマドリッドにいるセシリアのけいけん：おとうさんとおとうととサッカーのしあいをみていました。



おかあさんがいいました。「つかれてかえってきたのに、わたしがゆうごはんをつくの？だれかてつだってくれる？」



しあいをみたかったのですが、おかあさんのなかにはイエスさまをあいそう！とおもい、おかあさんのおてつだいをしておかあさんをよろこばせました。そしてわたしたちがおうえんしていたチームが4たい0でかちました！！